

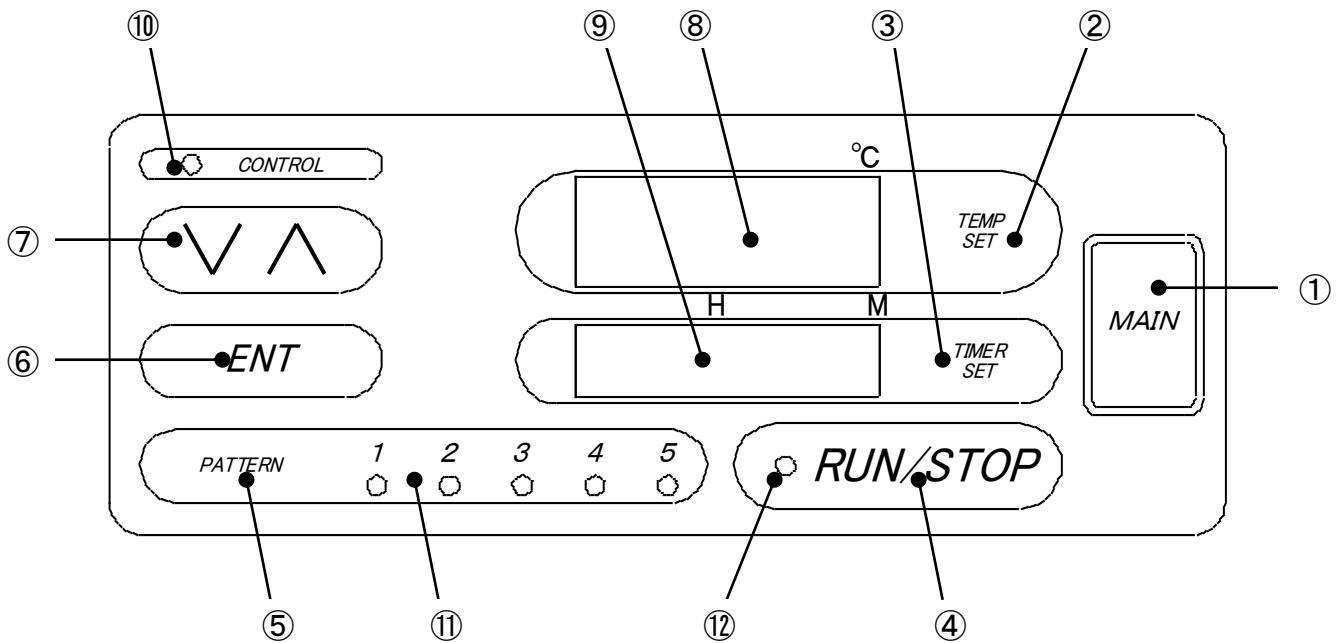
# ALP501型 温度調節器取扱説明書

- この取扱説明書を良くお読みになって、装置をご理解の上使用してください。
- 本書は、誰もがいつでもすぐに見る事のできる場所に保管してください。



アルプ株式会社

# 1. 各部名称



番号	名称	主な機能
①	MAINキー	温度調節器の電源をON/OFFします。
②	TEMPSETキー	設定温度の確認や変更を行います。
③	TIMERSETキー	設定時間の確認や変更を行います。
④	RUN/STOPキー	運転の開始/停止を行います。
⑤	PATTERNキー	運転パターンの変更を行います。
⑥	ENTキー	設定した内容の登録を行います。
⑦	アップダウンキー	設定値の増減を行います。
⑧	温度表示部	設定温度や槽内温度を表示します。(赤色)
⑨	時間表示部	設定時間や経過時間(残り時間)を表示します。(緑色)
⑩	CONTROLランプ	ヒーター通電時に点灯します。(赤色)
⑪	PATTERNランプ	現在パターンを表示します。(赤色)
⑫	運転表示ランプ	運転中点灯します。(緑色)

## 2. 操作方法

### 2. 1 基本的な操作手順



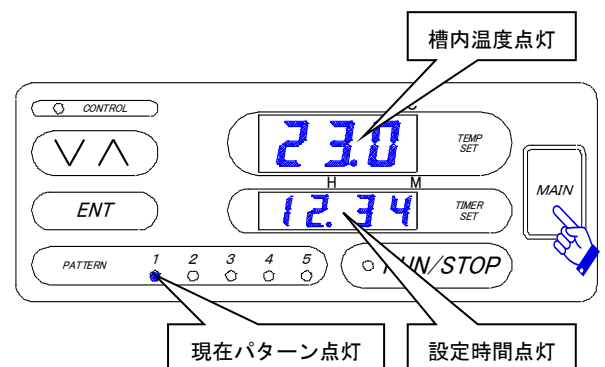
### 2. 2 設定手順

#### はじめに

OMAINキーを押して、運転待機状態にします。

- ・温度表示部に槽内温度が点灯します。
- ・時間表示部に設定時間が点灯します。
- ・PATTERNランプが点灯し、現在選択されているパターンが表示されます。

以下の設定変更はこの状態から行ってください。  
運転中に設定の変更はできません。



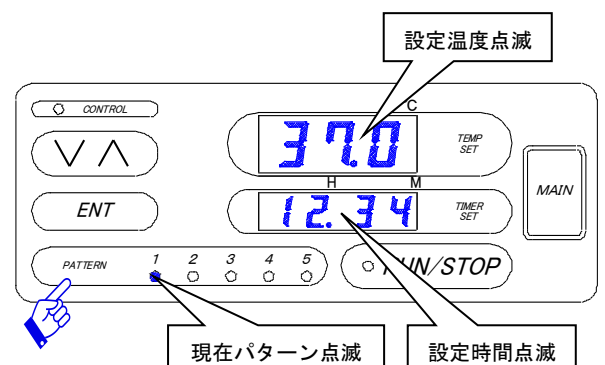
#### 2. 2. 1 運転パターンの設定

●本器では5パターンまで設定が記憶できます。

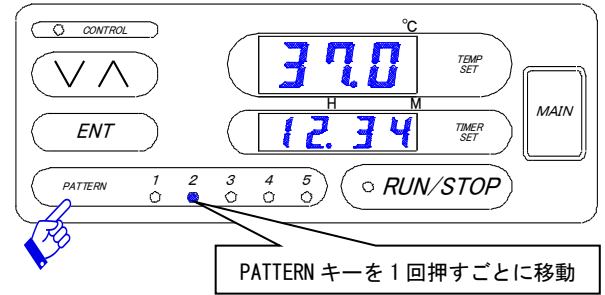
パターン1～5にあらかじめ温度と時間を入力しておく、パターンの選択だけで温度、時間設定の手間が省けます。

①PATTERNキーを1回押します。

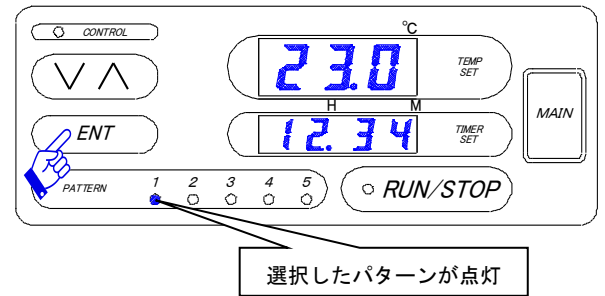
- ・PATTERNランプの現在選択されている箇所が点滅します。
- ・温度表示部に現在の設定温度が点滅表示します。
- ・時間表示部に現在の設定時間が点滅表示します。



- ② PATTERNキーを押して、PATTERNランプの点滅箇所を選択するパターンへ移動させます。PATTERNキーを1回押すごとにPATTERNランプが1~5の順に移動します。



- ③ ENTキーを押して、パターンを決定します。
- ・ 選択したPATTERNランプが点灯します。
  - ・ 運転待機状態に戻ります。

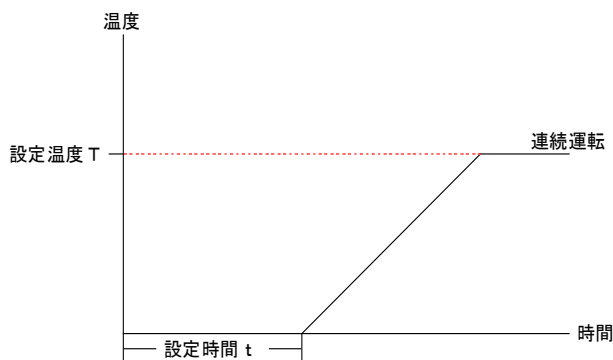


## 2. 2. 2 運転モードの設定

- 本器はタイムインモードとタイムアウトモードの運転モードが選択できます。工場出荷時はタイムアウトモードが選択されています。

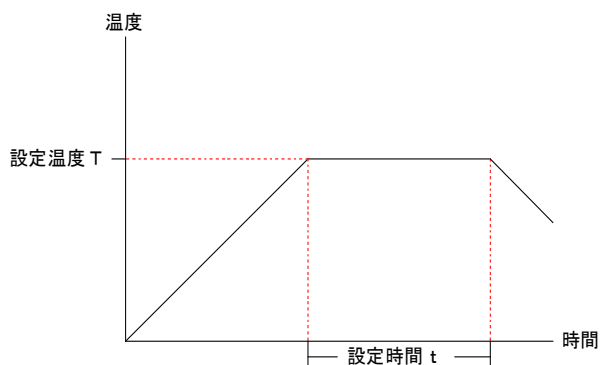
### ・タイムインモード

設定時間経過後に運転を開始し、設定温度で連続運転します。



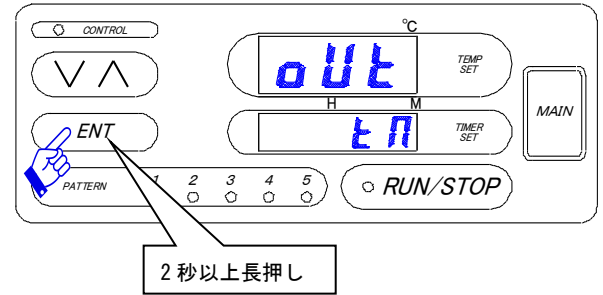
### ・タイムアウトモード

槽内温度が設定温度に達してからタイマーが動作し、設定温度を維持します。設定時間経過後、自動的に運転が停止します。



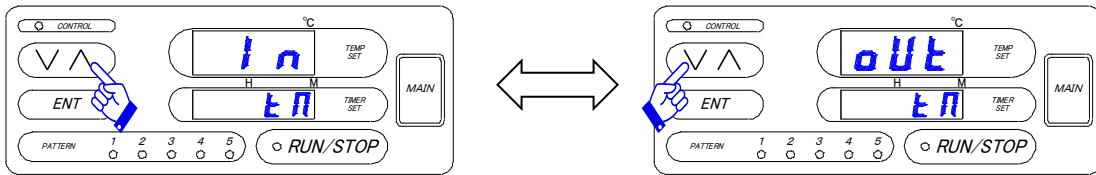
① 運転待機状態でENTキーを2秒以上長押しします。

- ・ 温度表示部がoutに切り替わります。(工場出荷時)
- ・ 時間表示部がt0に切り替わります。
- ・ PATTERNランプが消灯します。



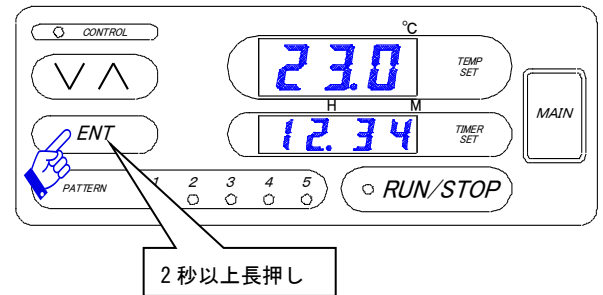
② アップダウンキーを押して、運転モードを選択します。

- ・ 温度表示部「in」: タイムインモード
- ・ 温度表示部「out」: タイムアウトモード



③ ENTキーを2秒以上長押しします。

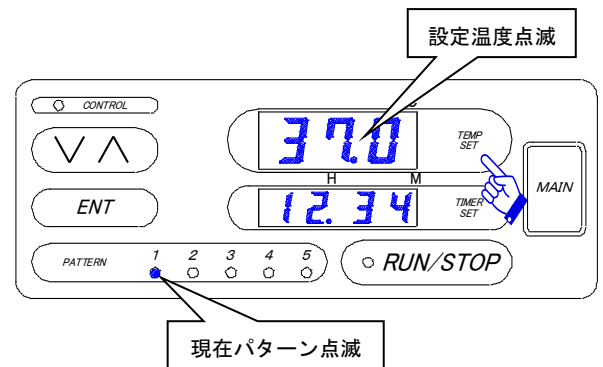
- ・ 運転待機状態に戻ります。



## 2. 2. 3 温度の設定

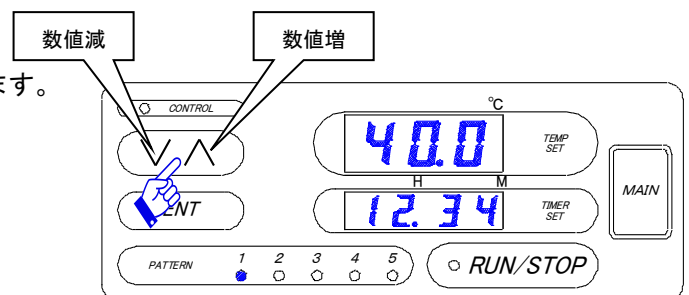
① 運転待機状態でTEMPSETキーを押します。

- ・ 温度表示部に現在の設定温度が点滅表示します。
- ・ PATTERNランプの現在選択されている箇所が点滅します。



② アップダウンキーを押して、設定温度を変更します。

- ・ キーを押し続けると数値が自動歩進します。

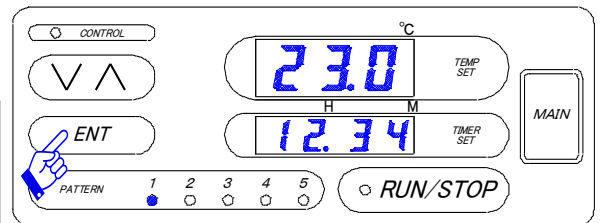


③ENTキーを押して、変更した内容を登録します。

- ・運転待機状態に戻ります。

◎変更した内容を登録する際は、必ずENTキーを押します。

アップダウンキーの操作だけでは変更した内容は登録されません。



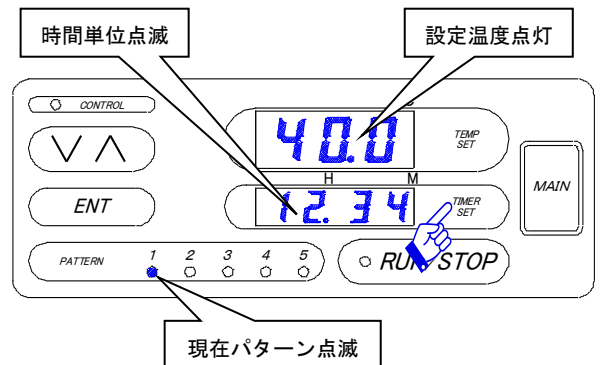
## 2. 2. 4 時間の設定

●本器では99時間59まで時間設定が可能です。

設定00時間00分で連続運転となります。

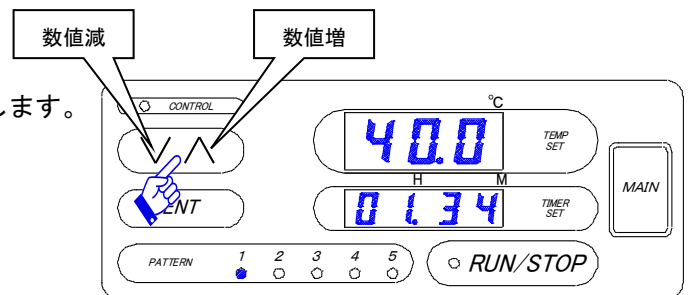
①運転待機状態でTIMERSETキーを押します。

- ・温度表示部に現在の設定温度を表示します。
- ・時間表示部の時間単位が点滅表示します。
- ・PATTERNランプの現在選択されている箇所が点滅します。



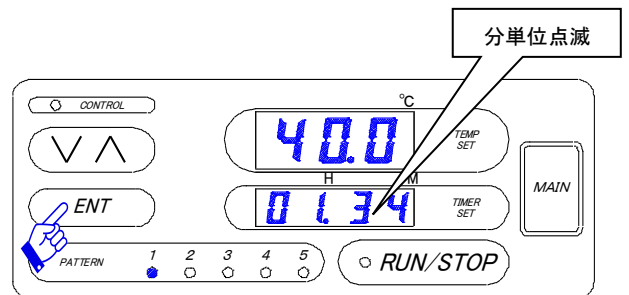
②アップダウンキーを押して時間単位の値を変更します。

- ・キーを押し続けると数値が自動歩進します。



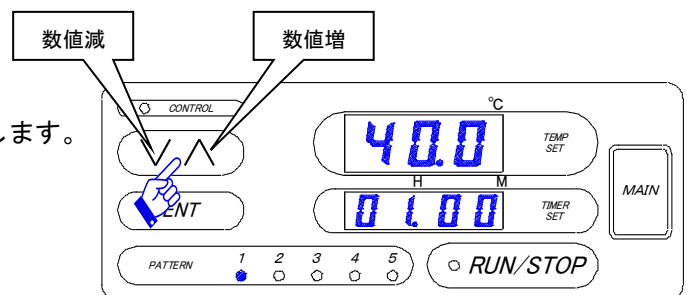
③ENTキーを押します。

- ・時間表示部の点滅が分単位に切り替わります。

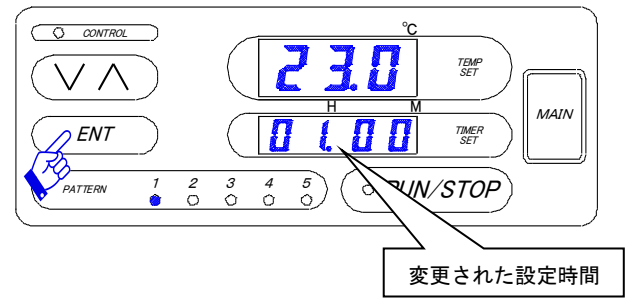


④アップダウンキーを押して、分単位の値を変更します。

- ・キーを押し続けると数値が自動歩進します。



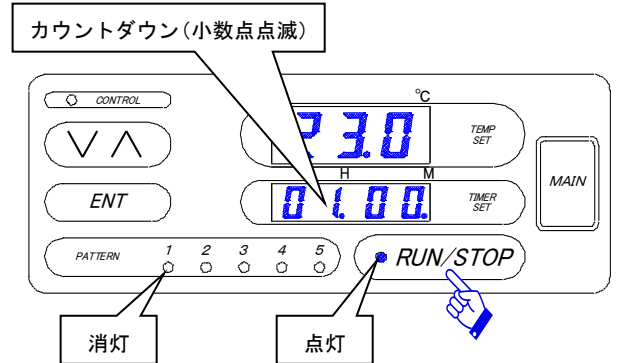
- ⑤ ENTキーを押して、変更した内容を登録します。
- ・ 運転待機状態に戻ります。
  - ・ 時間表示部に、変更した設定時間が表示されます。



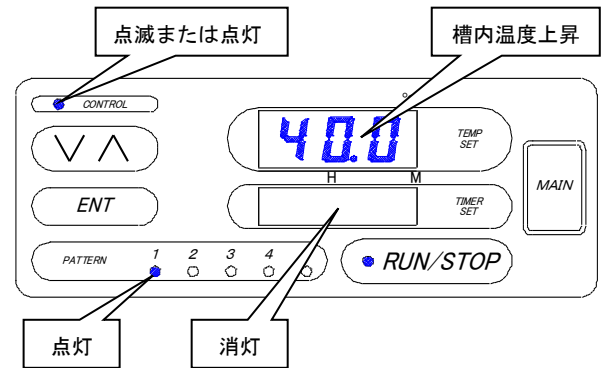
## 2. 2. 5 運転の開始・停止

### ●タイムインモードでの運転

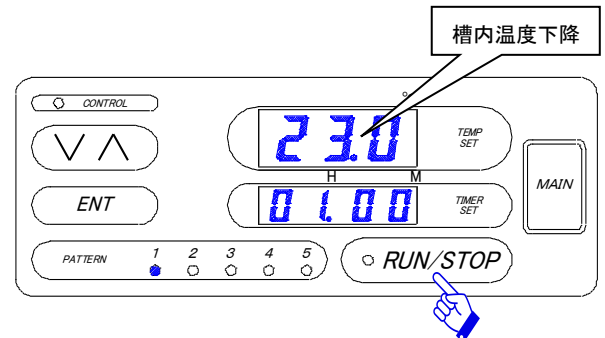
- ① 運転待機状態にてRUN/STOPキーを押して運転を開始します。
- ・ 運転表示ランプが点灯します。
  - ・ PATTERNランプが消灯します。
  - ・ タイマーがカウントダウンします。



- ② 設定時間経過後自動的に運転を開始します。
- ・ CONTROLランプが点灯または点滅します。
  - ・ 時間表示部が消灯します。
  - ・ PATTERNランプが点灯します。
  - ・ 槽内の温度が上がりはじめ、設定した温度を維持します。

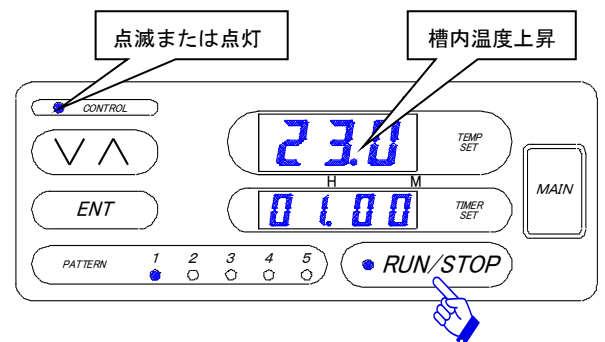


- ③ 運転を停止するにはRUN/STOPキーを押します
- ・ 運転待機状態に戻ります。
  - ・ 槽内の温度が下がりはじめます。



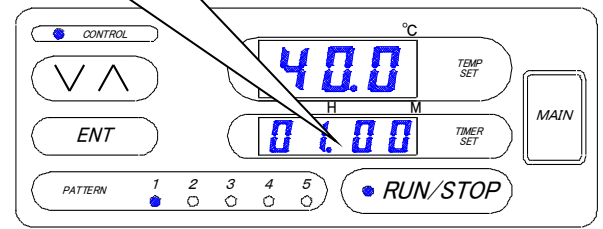
### ●タイムアウトモードでの運転

- ① 運転待機状態にてRUN/STOPキーを押して運転を開始します。
- ・ 運転表示ランプが点灯します。
  - ・ CONTROLランプが点灯または点滅します。
  - ・ 槽内の温度が上がりはじめます。



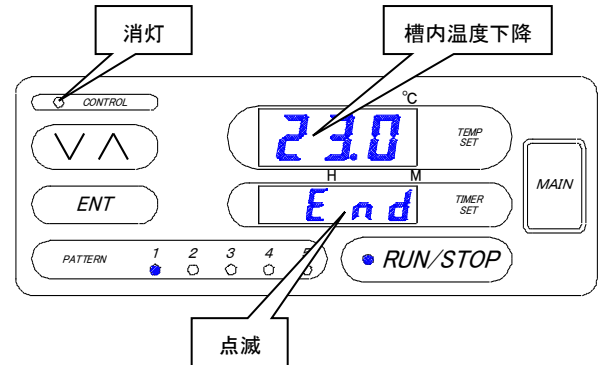
- ②槽内温度が設定温度に達します。
- ・タイマーがカウントダウンします。
  - ・設定温度を維持します。

カウントダウン(小数点点滅)

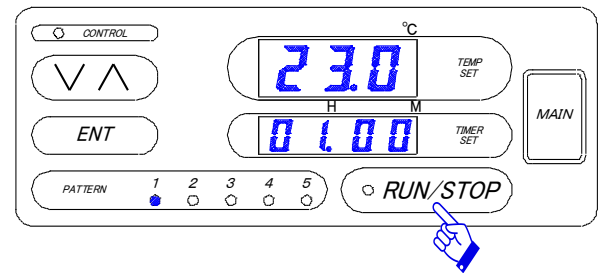


- ③設定時間経過後自動的に運転を停止します。
- ・終了ブザーが10秒間鳴ります。
  - ・時間表示部にEndを点滅表示します。
  - ・CONTROLランプが消灯します。
  - ・槽内温度が下がりはじめます。

設定時間到達前に運転を停止する場合はRUN/STOPキーを押して運転を停止してください



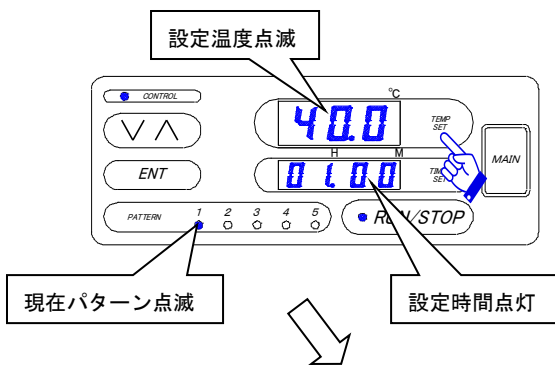
- ④RUN/STOPキーを押します。
- ・運転待機状態に戻ります。



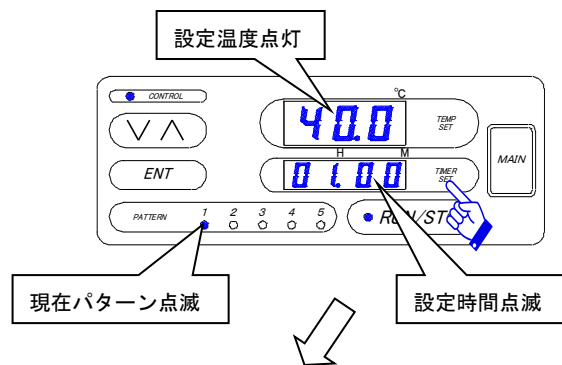
●運転中に設定した内容を確認する場合

- ・運転中に設定温度・設定時間を確認する場合、TEMPSETキーまたはTIMERSETキーを押します。運転表示に戻すにはENTキーを押します。

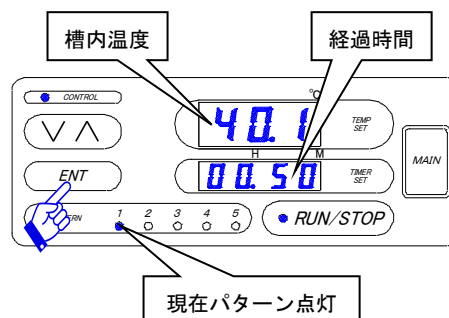
◎TEMPSETキーを押した場合



◎TIMERSETキーを押した場合



ENTキーを押す

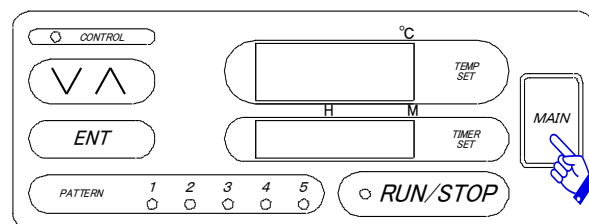




## 2. 2. 6 運転終了

○全ての運転を終了させる場合はMAINキーを押します。

- ・全ての表示部及びランプが消灯します。

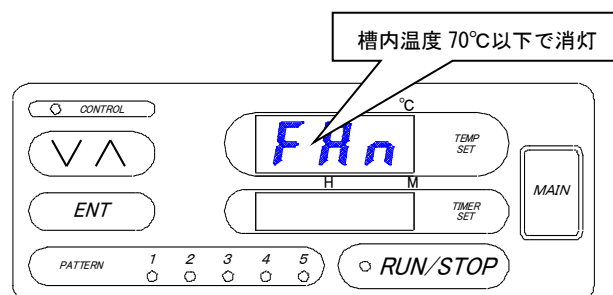


※MAINキーを押すと温度表示部にFRnが表示される場合があります。

槽内温度が70°C以上の時、ファン保護の目的で槽内温度が70°C未満に下がるまでファンを回し続けます。

槽内温度が70°C未満まで下ると自動的にファンの回転が停止し、FRn表示も消灯します。

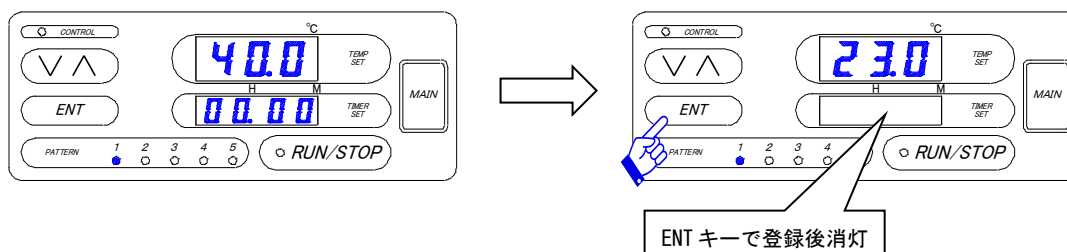
送風機能がない機種では表示されません。



## 2. 2. 7 連続運転

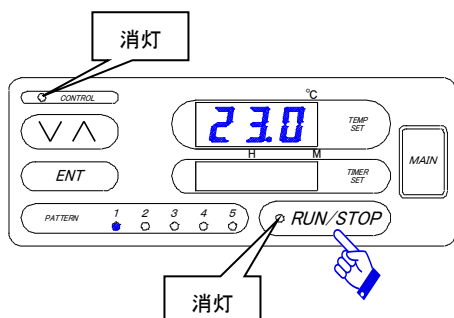
①連続運転を行う場合は、時間設定を00時間00分に設定します。(2. 2. 4 時間の設定参照)

- ・ENTキーで登録後、運転待機状態で時間表示部が消灯します。

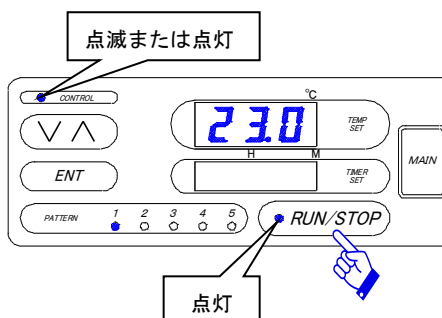


②運転の開始・停止はRUN/STOPキーで行います。

◎運転停止 (運転待機状態)



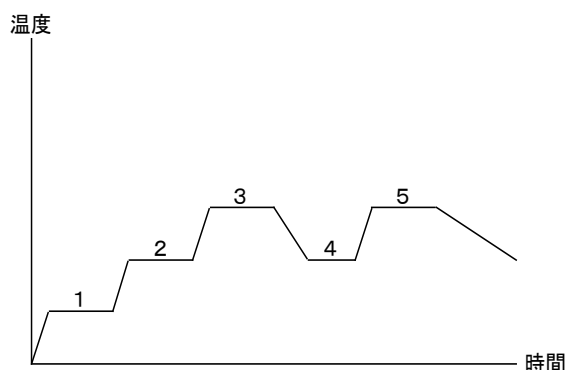
◎運転開始



※連続運転はタイムインモード・タイムアウトモードどちらでも運転できます。

## 2. 2. 8 プログラム運転

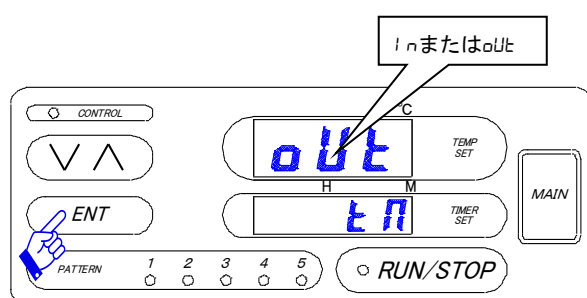
本器では、温度と時間の組み合わせを最大5パターン連動して運転するプログラム運転ができます。



### 2. 2. 8. 1 運転モードの設定

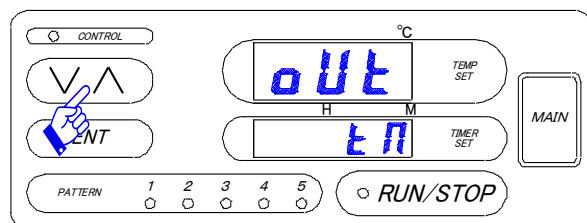
①運転待機状態でENTキーを2秒以上長押しします。

- ・温度表示部がinまたはoutに切り替わります。
- ・時間表示部がtPに切り替わります。
- ・PATTERNランプが消灯します。



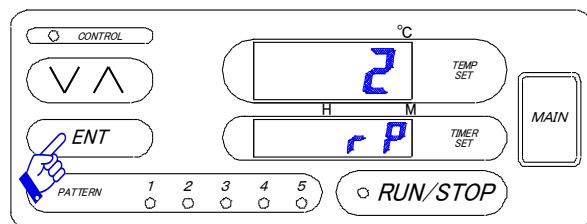
②アップダウンキーを押して温度表示部をoutと表示します。

◎タイムインモードでプログラム運転はできません。  
プログラム運転をする際はタイムアウトモードを選択してください。



③ENTキーを1回押します。

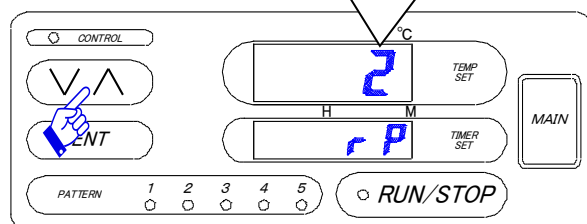
- ・温度表示部にプログラムのステップ数を表示します。
- ・時間表示部にrPを表示します。



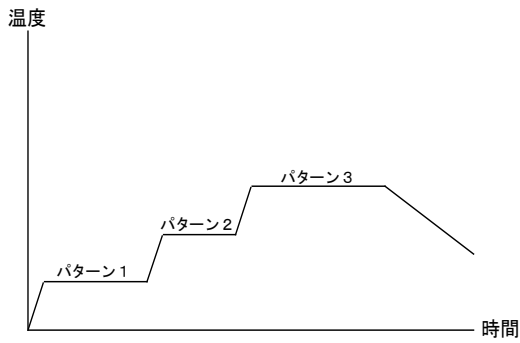
④アップダウンキーを押してプログラムのステップ数を設定します。

- ・ステップ数は2～5まで設定できます。
- 2: パターン1からパターン2まで連動
- 3: パターン1からパターン3まで連動
- 4: パターン1からパターン4まで連動
- 5: パターン1からパターン5まで連動

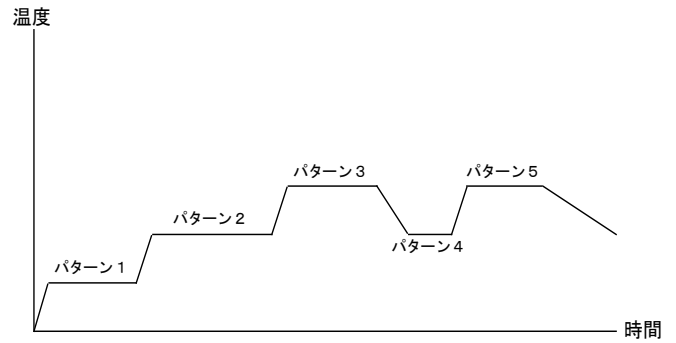
ステップ数2～5まで設定可



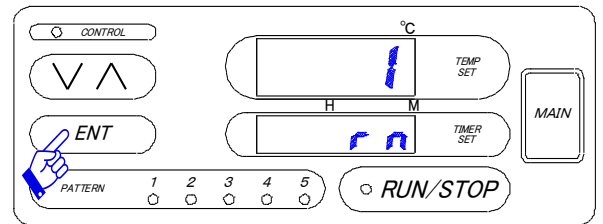
例：ステップ数 3



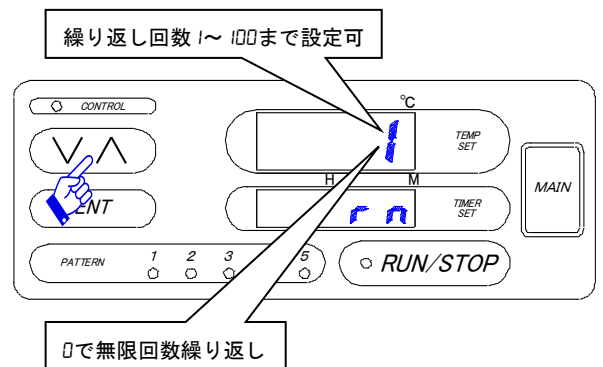
例：ステップ数 5



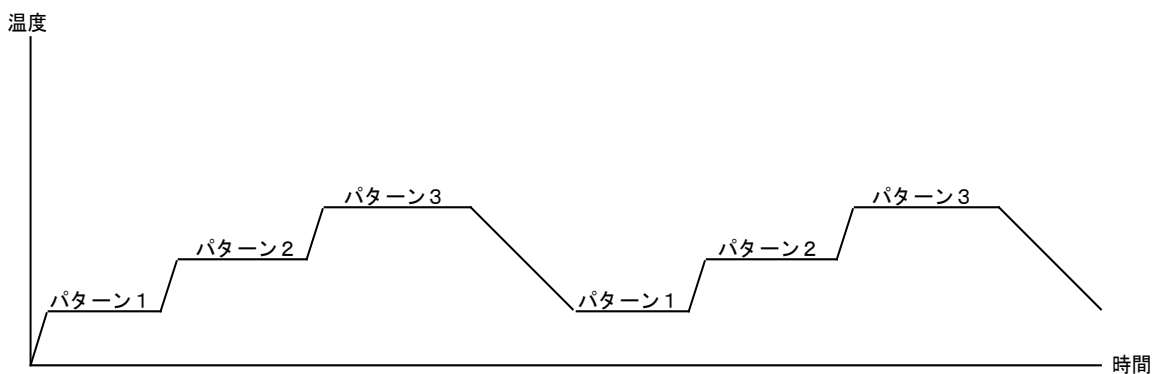
- ⑤ステップ数を選択したらENTキーを1回押します。
- ・温度表示部にプログラムの繰り返し回数を表示します。
  - ・時間表示部にnnを表示します。



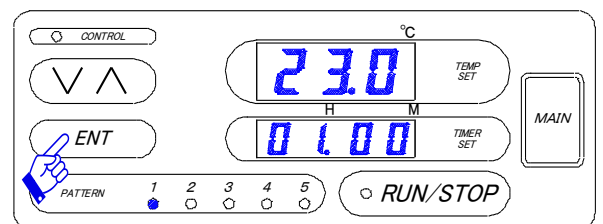
- ⑥アップダウンキーを押してプログラムの繰り返し回数を設定します。
- ・繰り返し回数：1～100回、0で無限回



例：ステップ数 3、繰り返し回数 2



- ⑦ENTキーを2秒以上長押しします。
- ・運転待機状態に戻ります。



## 2. 2. 8. 2 温度・時間の設定

●プログラムのステップ数に応じて、各パターンの温度・時間を設定します。

各設定方法は、下記項目を参照してください。

2. 2. 1 運転パターンの設定

2. 2. 3 温度の設定

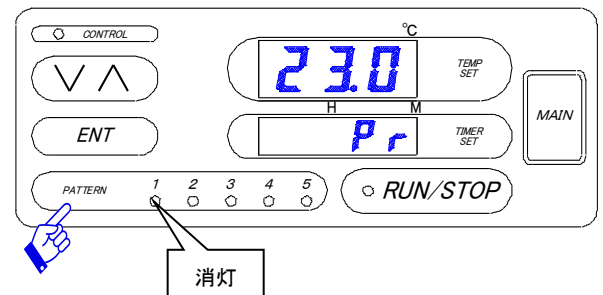
2. 2. 4 時間の設定

## 2. 2. 8. 3 プログラム運転の開始・停止

①運転待機状態にてPATTERNキーを2秒以上長押しします。

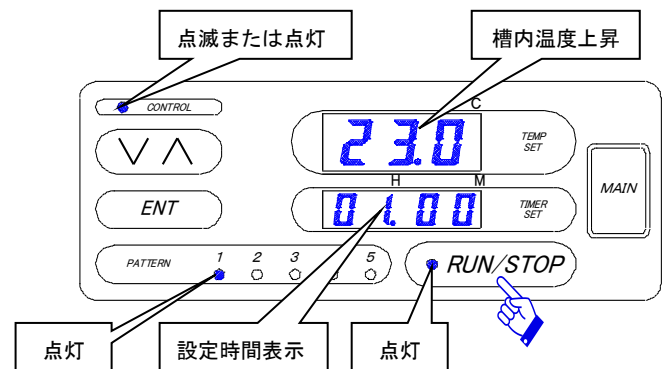
- ・時間表示部にPrを表示します。
- ・PATTERNランプが消灯します。

運転待機状態に戻すには再度PATTERNキーを2秒以上長押ししてください。



②RUN/STOPキーを押して運転を開始します。

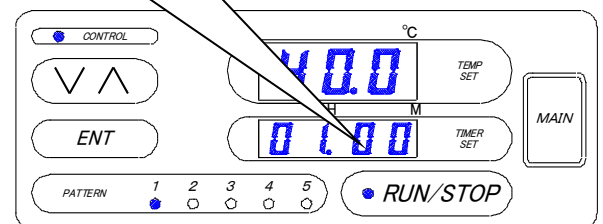
- ・時間表示部に設定時間を表示します。
- ・運転表示ランプが点灯します。
- ・CONTROLランプが点灯または点滅します。
- ・PATTERNランプ「1」が点灯します。
- ・槽内の温度が上がりはじめます。



③槽内温度がパターン1の設定温度に達します。

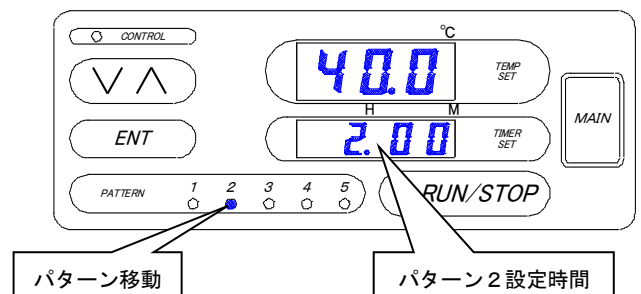
- ・タイマーがカウントダウンします。
- ・設定温度を維持します。

カウントダウン(小数点点滅)



④パターン1の設定時間が経過します。

- ・PATTERNランプの点灯が「2」に移動します。
- ・時間表示部がパターン2の設定時間を表示します。
- ・パターン2の設定温度に向かい制御を開始します。

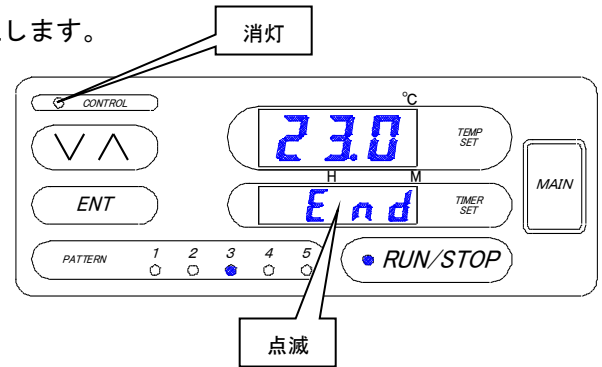


以降ステップ数、繰り返し回数に応じて③、④の動作を繰り返し、パターンが進行します。

⑤最終パターンの設定時間が経過後、自動的に運転を停止します。

- ・ 終了ブザーが10秒間鳴ります。
- ・ 時間表示部にEndを点滅表示します。
- ・ CONTROLランプが消灯します。
- ・ 槽内温度が下がりはじめます。

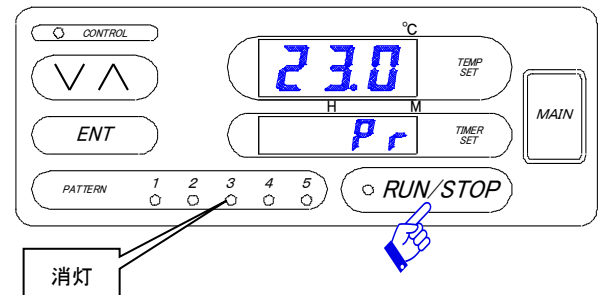
設定時間到達前に運転を停止する場合はRUN/STOPキーを押して運転を停止してください



⑥RUN/STOPキーを押します。

- ・ PATTERNランプが消灯します。
- ・ 時間表示部にPrを表示します。

運転待機状態に戻すには、時間表示部がPr表示中にPATTERNキーを2秒以上長押ししてください。

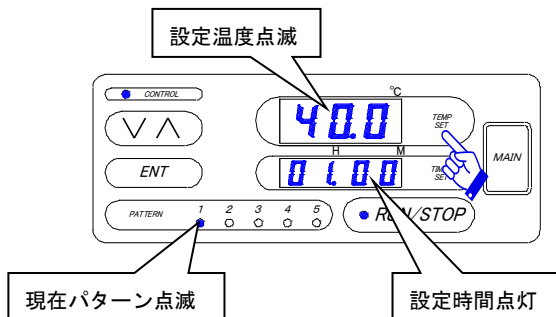


●プログラム運転中に設定した内容を確認する場合

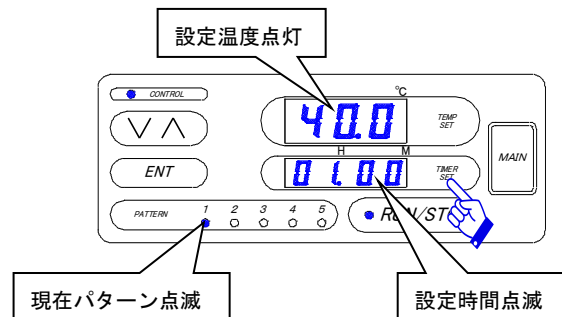
①TEMPSETキーまたはTIMERSETキーを押します。

- ・ 現在パターンの設定が表示されます。

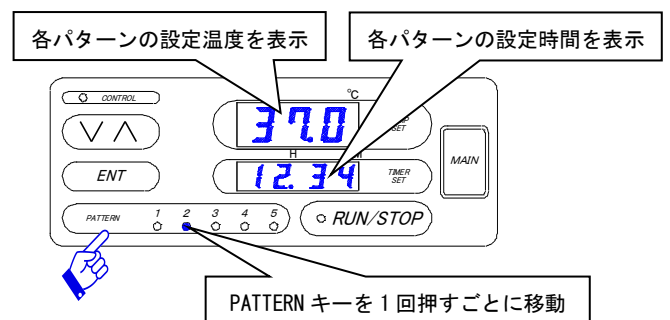
◎TEMPSETキーを押した場合



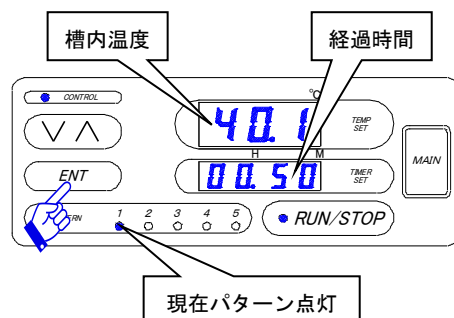
◎TIMERSETキーを押した場合



②パターンキーを1回押すごとにパターンランプが1～5の順に移動し、同時に各パターンの設定温度・設定時間を表示します。



③ENTキーを押して、運転表示に戻ります。



◎ 責任

取扱説明書に記載された内容を厳守してください。

万一、取扱説明書に反してご使用された場合、事故または故障発生の原因は一切負いません。

取扱説明書で禁止している事項は実施しないでください。

思わぬ事故や故障を起こす原因となります。

◎ お知らせ

- ・この取扱説明書の内容は、将来予告なく変更することがあります。
- ・落丁、乱丁はお取替えします。

取扱説明書

ALP501 型温度調節器

第1版 2007年12月14日

改定

---

製造元

アルプ株式会社

〒205-0003

東京都羽村市緑ヶ丘 3-3-10

TEL: 042-579-0531

FAX: 042-579-0533

E-mail: alpco@wonder.ocn.ne.jp